



元気おおとよ新聞

新年 あけまして おめでとうございます。

大豊に目を向けると、厳しい状況は加速度を増しているように感じられます。求められるのは、先の平和賞の文章にもあるように「一人一人の力」だと思えます。松下電器の創始者の松下幸之助氏は、会社の存亡危機の時、「今、最も必要なのは、社員全員が力を合わせることに他ありません」と全社員に呼びかけました。

私たちも明日の元気が大豊をめざしてみなさんと共に進んでまいりたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。

本年が「らんまん」でありますよう、皆さまのご多幸と大豊の発展を祈念申し上げ新年のごあいさつとさせていただきます。

さて元気おおとよにとっての昨年の大きなニュースは事務所の開設です。大田口テラスの1階の一室を借り受けることができました。これまでに、部屋を借りたり、ふれあいセンターの会議室や各個人の家で会議や実務を行って来ました。これからは資料や器材や器具などが手元にあります。移住や空き家の相談や手続きも決まった場所で行えます。部屋を整理する時に、仲間の一人がポツンと「ああ、うれしい」ともらした一言が印象的でした。

昨年10月16日の高知新聞に「ノーベル平和賞—市民社会こそ戦争を防ぐ礎」と題して静岡県立大准教授の浜由樹子氏の論文が掲載されました。中に「：あえて草の根の活動家に光を当てた今回のノーベル平和賞は、戦争に反対している人々に向けて、分断をおおるのではなく、憎悪や悲しみが満ちた難局を乗り越えていくには、市民一人一人の力が必要と訴えているように思われる。：人間の生命と尊厳を守る市民社会の在り方に私たちが立ち戻ることこそが、遠回りのように見えても、唯一の王道である。」と述べています。対象は異なりますが、温暖化の問題にも当てはまる内容だと思えます。

大豊のみな様にはお元気で新春を迎えられたことと思います。昨年は当法人へのご支援ご協力、誠にありがとうございました。本年も「NPO法人元気おおとよ」ならびに「元気おおとよ新聞」へのご支援やご鞭撻、そしてご愛読をどうかよろしくお願いいたします。

昨年は一向に収まる気配の見えないコロナウイルスやロシアによるウクライナへの侵攻問題が大きな関心を集めました。中で何より危惧されるのは、異常気象による地球温暖化問題やそれに向けての取り組みです。率直に言わせてもらえば、国や世界を束ねるべき組織には期待出来そうにありません。この問題には、スウェーデンのグレタさんが起こしたような社会的な活動が適しており必要ではないかと思えてなりません。



理事長 下村守正

空家対策モデル事業が始まりました。

大豊町から委託を受けて実施する「空き家対策モデル事業（以下、モデル事業）」が始まりました。

まずは、対象地区の区長さんへの事前説明を行って、随時地区を周りはじめているところです。

また、各地区で行われているミニデイにも参加して、モデル事業の内容を説明させていただきました。

皆さん、反応は人それぞれでしたが、「自分の家の処分をそろそろ考えたい」や、後日「近所の家が空いているので今度案内するよ」など、少しずつ反応を頂いています。

特に多かった意見としては、家の中の荷物がそのままでもできないというものでした。当然、高齢になればなるほど、荷物の処分が難しくなっていくと思いますし、空き家を有効活用しようと思っても、片付けが障害となかなか先へ進めないという意見が大半でした。この問題は以前からありましたが、より一層空き家の片付けに関する取組に力を入れていかなければいけないと感じています。

当法人でも、移住者への賃貸や売買目的であれば、片付けのお手伝いをする取り組みを行っております。また、そうでなくても片付けなどを請け負ってくれる業者さんを紹介することもできますので、少しずつご自身やご家族のお家の事を考えていただければ幸いです。

引き続きモデル事業を通して、大豊町の空き家の課題が減り、地域の未来が明るい方向になるような事業にしていきたいと考えております。



【お知らせ】

前回の秋号にて、大田口事務所での空き家相談窓口の営業時間に誤りがありました。正しくは以下となりますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

- ◆場所： 大田口テラス（旧大田口小学校）1階
〒789-0250 大豊町黒石363-5 1階
（元気おおとよ大田口事務所）
- ◆日時： 毎週水曜日9:00～15:00
- ◆連絡先： 070-8490-0228 担当 猪野

